

人形芝居

東京女子高等師範學校
附屬幼稚園

菊池 フジノ

段々寒くなつてまゐりますと、日頃、外で思ひのまゝに遊びまわつてゐる武者達まで室中に籠りますので、調子の悪い日等、お室の中のざわつき様つたらありません。こんな時人形芝居等をして見せますと大變よろこびます。

芝居は、子供達によく知られてる童話の一部、又は全部をする時が多うございます。どの場面を現すかとか、又は、このおはなしを幾幕にしようとかいふことは、その童話をよく味ひますと、自ら判断することで、何も申上げることもしません。併し、之がなか／＼私共には六ヶ敷うございますので、あんなに子供等がよろこぶから澤山

見せてやり度いとは始終心に思つて居るのでございますが、そうたやすく出来ないわけなのでございます。又家庭劇とか、兒童劇とか云つた様の本に依る事もございます。

こんな工合にして演出するものを決めまして、之に合せて、舞臺だのバックだの人形などを揃へるのでございます。

舞臺は簡單なもの、精巧なもの、いろ／＼ございませうが、極く簡單には、枠をこしらへて何かの上に乗せれば一つの舞臺になります。これでも結構だと思ひます。

それから人形にもいろ／＼ございます。お猿さ

んの様に毛皮様の厚地で出来た精巧なものもあれば、何かの空箱を利用した紙箱の人形もございませう。芝居によつてそれぞれ必要に應じた人形を使へばよろしいのでございませうが、最も經濟的で、どんなへきすうの地でも得られる箱人形、卵人形、布人形等について申上げませう。

口繪の顔ぶれの中の箱人形は、九重の空箱でこしらへたものでございませう、誠に不完全な、それで大變印象的で、容易く出来る人形でございませう。鼻を畫用紙で三角に貼りつけ、目、口等を描き入れ布の帽子をかぶらせたわけでございませう。何も九重の箱と限つただけではありませぬ。相當した小箱があれば結構出来ませう。畫用紙でも出来ませう。

頸は丸い打抜ちぬいたところへ、畫用紙を巻いて筒にしてさし入れ、その下の方に着物縫ひつけたのでございませう。この頸のところはよほどしつ

かり出来なければ頭がぐらつて使ひにくうございませう。何かいゝ案はないものかと思ひませうがまだ名案も浮ばずこのまゝにして置いてございませう。着物は頸の所をえぐり、袖や胴は洋服のワンピースの様にしままで、ございませう。手は、つけなくてもよろしいし（この場合袋にして置く方可）つけなくてもそこから使ふ人の指を一寸出してもよろしいと思ひませう。着物の地質は、ラシャとかアストラカンとか云ふ厚地のものが使ひ易うございませうが、有り合せのキャラコでもネルでもメリンスでも絹でもよろしうございませう。色合は、舞臺の上に見るのですから、原色と云つた様な印象的なものがいゝと思ひませうが併しこれもそう大した吟味もいるまいと思ひませう。

それから卵人形、これは卵の一端に小さい穴をあけ、そこから中の白味黄味を出してしまひ、それに、一分位の幅に切つたガンビ紙を三、四重に

縦に貼つて目、鼻、口を描き入れたのでございます。

す。ガンビは薄くて丈夫でよろしうございますが、求める便の悪い所では半紙でも結構だと思ひます。内と外と両側から貼れば丈夫だそうでございますが、内側に貼るのは、なか／＼六ヶ敷うございいますので外側にだけ貼つて居ります。そのせいか一寸古くなりますと脆くて床へでも落せば破れてしまひます。それに近頃ねずみが出て食べましたので、先頃までは澤山あつたのですが、取り出して見たら、あんな貪弱なのがたつた一つ満足に残つて居ただけでございます。頸は箱人形の時の様に畫用紙の筒をつけずに、着物を直接頭へ縫ひつけました。卵はそう大きくございませんで、指で支へられますし、それに大變頸いので畫用紙の頸等つけたら、そのまわりが段々に崩れ落ちて忽ち駄目になつてしまふと思はれますのでつけなくて居るのでございます。着物は箱人形と同

じでございます。

布人形。あれは頭の前と後とを縫ひ合せ、中に堅く綿をつめ（頭を支へる指の、は入る餘地あらしむ）着物を縫ひつけたのでございます。髪の毛も眼、鼻、口も簡単な刺繡で出来て居ります。

それからあの殿様人形は臺灣の方からいたゞいたのでございます。臺灣では、頭だけ又は着物を着せたりして賣つて居るのだそうでございます。殿様みたいな顔をしたのやその他いろ／＼のがあるのだそうでございます。

ピノチヨは店頭のを求めたのでございました。

お猿さんは御承知のドイツ製のもの。

人間の人は、何とかこんな風にして拵へて居りますが、童話をお芝居に致します場合、かなり屢々動物が欲しい時がございませぬ。猿、熊、犬等上等な舶來品がございませぬが、一寸高價ですし、それに猿熊犬等の他、欲しいと思ふだけの動物が

出来ても居ない様でございます。何とかして出来ないものかしらと考へて居りましたところ、先日

フレイベル館で兎、猿、熊、犬等を拵へました、外國製のそれに比して廉價であるとは云へ、併しいつのお芝居にも不自由しない程の數と種類（まだ四五種位ですのぞ）とを揃へておくことは一寸六ヶ敷うございます。やはり布とか畫用紙とか厚紙などに欲しいと思ふ動物の特徴を現し、之を工夫して立體にし、着物をさせて使へる様にするのが一番私共として容易く出来る事だと思ひます。

若し立體にするのになか／＼骨が折れて困る時には畫用紙などにそれを切抜き、持つ所をつけて用ひても、つまりはよろしいと思ひます。

こんな風にして極く簡單に致して居ります芝居の中、花咲爺について次に徳久さん白根さんが書いて下さいました。花咲爺はおはなし全部を致さ

ずに、灰をまいて枯木に花を咲かせる場面だけを行いました。

◇ ◇ ◇ 花 咲 爺

徳 久 孝 子
白 根 美 智 子

第一幕

場 面 田舎の街道

背 景 遠景に農家、樹等を描き、のんびり

とした田舎の街道の景色。舞臺に枯木を一本用意する

登場人物 善兵衛 なるべく優しい顔のお爺さん

ん 悪兵衛 少し怖い顔のお爺さん

殿様 及び 馬

家來